

長野中央病院臨床研修病院群
臨床研修プログラム

オリエンテーション

《一般目標》

- 2年間の研修目標およびカリキュラムを確認し、当プログラムの概略を理解する
- 病院内の各種基準、システムについて理解する
- 医療その他の現場が多種多様な職種によって成り立っていることを理解する

《行動目標》

集合研修

- 当研修プログラムについて理解し、自己目標を設定する
- 病院および関連施設の見学を行う
- 保健医療法規、医療保険制度、保険医療費担当規則について説明を受ける
- 安全管理のための院内マニュアル類の説明を受ける
- オーダーエントリーシステムについて説明を受け基本操作ができる
- 他職種との合同教育プログラムに参加する

入院体験

- 患者体験を行い、実際の療養や検査を体験する
- 患者の視点から病院業務を評価し改善点を指示する

他職種体験

- 医師以外の職種の主要な職場で簡単な業務を体験する
- 各職場のスタッフとの良好な人間関係を構築する

臨床研修（通年性／各科共通）

基本的受け持ち医能力研修

《一般目標》

- 受け持ち医として患者と信頼関係をもち、倫理や人権に配慮して診療にあたる
- 受け持ち医として、基本的診療技術を有する
- 患者を単なる病気だけでなく地域家族労働との関係において全人的にとらえる能力を有する
- 受け持ち医として他科医師、他職種と協力できる

《行動目標》

- 主治医（指導医）のもと、患者の受け持ち医となる
- 良好な患者・医師関係を構築しかつ必要な情報を得るための医療面接法を学び実施する
- 身体診察法を学び実施する
- POS に沿った診療記録、および各種診断書や書類を的確な内容で遅滞なく記載する
- 病歴や身体所見から適切な鑑別診断が上げられる
- 基本的検査について、計画・指示・実施または利用でき、的確な結果の解釈をする
- 食事・安静などの基本的な指示ができる
- 基本的穿刺手技（血管／体腔）について、適応判断と安全な実施ができる
- 基本的輸液（輸血を含む）について、適応判断と安全な使用ができる
- 基本的薬剤（頻用薬剤）について、適応判断と安全な使用ができる
- 文献収集を行い、科学的根拠に基づく医療を実践できる
- 指導医や専門医にタイミングよく的確にコンサルトできる
- 患者や家族にわかりやすく説明ができる
- 臨床倫理、インフォームドコンセントの原則に基づく医療を実践できる
- 他医療機関への情報提供（逆紹介を含む）を経験する
- 退院時病歴要約（サマリー）を遅滞なく的確に記載する
- 社会制度や保険関連の利用のための診断書を的確に記載する
- 臨死時の対応を経験する
- 剖検の申し込み、剖検の立ち会いを行う
- 病棟でのカンファレンスで自ら症例提示や意見表明ができる
- インシデント・アクシデントに学び、自らもレポートを提出できる

基本的検査能力

《一般目標》

- 上部消化管内視鏡と腹部超音波検査が自ら実施できる
- 12 誘導心電図と胸部レントゲンを自ら読影できる

《行動目標》

通年性で週1単位の検査ないし読影に参加する

機器の取り扱いに慣れ、安全で迅速な検査が実施できる

画像の保存と、所見の記載ができる

読影会に参加し、議論に参加し発言する

臨床研修（ローテート）

内科

《一般目標》

内科受け持ち医として実際の患者の診療に携わる中で、内科各疾患分野の専門的診断・治療を経験することで幅広い鑑別診断能力を養うとともに、複数の併存疾患や合併症、高齢者における老化などを総合的に担当する受け持ち能力を養う。

疾患を生物学的側面だけではなく、社会的・心理的側面からもとらえ解決する能力を身につける。

《行動目標》

内科導入期および一般内科分野

以下の疾患を経験する

肺および腸管、尿路の一般感染症／貧血やリンパ節腫脹を主とする血液疾患／不明熱／膠原病の鑑別を要する結合組織の病態／低栄養または体液・酸塩基平衡管理を要する疾患／湿疹皮膚炎群／出血傾向または紫斑性疾患／薬物作用の疑われる疾患／肝機能障害

以下の治療（検査）手技を経験する

血液一般検査／血液ガス分析／鉄代謝マーカー／凝固線溶系検査／骨髓検査／髄液検査／自己抗体／各種培養検査／グラム染色検査／血清学的検査／抗原迅速検査／抗生物質療法／輸液療法／ステロイド療法／鎮静ないし睡眠剤療法／食事療法（制限食・経管栄養を含む）／酸素療法／心電呼吸モニタ／簡易血糖測定／理学療法／作業療法／

中心静脈カテーテル留置術ほか病棟での基本穿刺手技（清潔操作を含む）を学ぶ

絶食時ないし経口摂取不十分な患者に対しての輸液療法を学ぶ

水分バランス、栄養管理の原則を学ぶ

感染症の診断理論と治療の原則を学ぶ

入院患者への対症療法を学ぶ（解熱／鎮痛／不眠／不穏／その他）

循環器疾患分野

以下の疾患を経験する

急性および慢性心不全／虚血性心疾患／肺循環疾患／不整脈／動脈硬化性疾患／静脈ないしリンパ管疾患／高血圧性疾患／外科的治療を要する心疾患（先天性ないし後天性心疾患）

以下の治療（検査）手技を経験する

負荷心電図（トレッドミル）／心臓超音波検査（体表および経食道）／心臓 CT・MRI 検査／抗血栓療法／昇圧・降圧剤／カテーテル検査・治療／ペースメーカー治療

心血管系の疾患を、病歴聴取と身体診察から推定できる能力を養う

心不全の病態生理を理解し、原因の検索と治療の実践を学ぶ

虚血性心疾患の診断と治療を学ぶ

不整脈の察知・危険度の判定と治療を学ぶ

高血圧の病態生理を理解し、原因の検索と治療を学ぶ

心臓リハビリテーションを学ぶ

循環器系疾患の退院後生活指導を学ぶ（塩分制限、内服の遵守など）

呼吸器疾患分野

以下の疾患を経験する

急性および慢性呼吸不全 / 呼吸器感染症（肺結核を含む） / 閉塞性または拘束性肺疾患 / 胸膜ないし胸腔の疾患 / 呼吸器の腫瘍性疾患

以下の治療（検査）手技を経験する

人工呼吸（NIPPVを含む） / 胸部 CT 検査 / 胸腔穿刺ないし胸腔ドレーン留置（脱気療法を含む） / 気管支鏡検査 / 肺生検または胸膜生検 / 気管切開 / 結核菌の検出および抗結核治療

呼吸器系の疾患を、病歴聴取と身体診察から推定できる能力を養う

呼吸不全の病態生理を理解し、原因の検索と治療を学ぶ

肺炎（肺結核を含む）の鑑別診断と治療を学ぶ

胸水貯留（胸膜炎を含む）の鑑別診断と治療を学ぶ

気胸の診断と治療を学ぶ

肺がんを疑う腫瘍性病変の診断と治療を学ぶ

呼吸器リハビリテーション（肺理学療法）を学ぶ

呼吸器系疾患の退院後生活指導を学ぶ（禁煙、アレルゲン回避など）

消化器疾患分野

以下の疾患を経験する

食道胃十二指腸疾患 / 腸閉塞（便秘症を含む） / 下部消化管の感染症（憩室炎を含む） / 胆嚢胆管疾患 / 肝疾患 / 膵臓疾患 / 腹膜および腹腔の疾患 / 消化管の腫瘍性疾患

以下の治療（検査）手技を経験する

上部消化管内視鏡（止血術を含む） / 下部消化管内視鏡（ポリペクトミーを含む） / 膵胆管系の造影検査（ドレナージ術を含む） / 腹部血管造影検査 / 腹部 CT 検査（造影を含む） / 腹部超音波検査（造影を含む） / 肝生検 / 便潜血検査 / イレウス管 / 胃瘻造設または交換 / 腹水穿刺 / 病理検査

消化器系の疾患を、病歴聴取と身体診察から推定できる能力を養う

腹痛や消化管機能不全（イレウスほか）の病態生理を理解し、原因の検索と治療を学ぶ

黄疸を主症状とする疾患の病態生理を理解し、原因の検索と治療を学ぶ

消化管の感染症（H.pylori 感染症を含む）の鑑別診断と治療を学ぶ

腹水貯留（腹膜炎 / 消化管穿孔を含む）の鑑別診断と治療を学ぶ

消化管出血を主症状とする疾患の診断と治療を学ぶ

肝硬変（肝不全／肝性脳症）の診断と治療を学ぶ

消化器癌を疑う腫瘍性病変の診断と治療を学ぶ

呼吸器リハビリテーション（肺理学療法）を学ぶ

消化器系疾患の退院後生活指導を学ぶ（食事療法、禁酒など）

糖尿病・代謝・腎臓・内分泌疾患分野

以下の疾患を経験する

糖尿病（合併症を含む）／腎不全（高K血症を含む）／副腎不全／甲状腺疾患／下垂体機能不全／糸球体腎炎またはネフローゼ症候群／尿管結石／高尿酸血症／脂質代謝異常症

以下の治療（検査）手技を経験する

インスリン療法／血液浄化療法／腎生検／ブラッドアクセス（PTAを含む）／内分泌負荷試験／蓄尿検査（Ccrを含む）／患者教育（糖尿病教育入院）

糖代謝異常やその他の代謝腎内分泌系異常を、病歴聴取や身体診察から推測できる能力を養う

糖尿病の病態生理を理解し、原因（型分類）の検索と治療を学ぶ

インスリン療法の導入や調節を学ぶ

糖尿病性合併症（糖尿病足を含む）の診断と治療を学ぶ

慢性腎不全の透析導入の適応と実際を学ぶ、あわせて腎不全患者への投薬の原則を学ぶ

血尿蛋白尿、または急性腎不全の鑑別診断を学ぶ

緊急を要する電解質異常の鑑別診断と治療を学ぶ

神経系疾患及びリハビリテーション分野

以下の疾患を経験する

脳・脊髄血管障害後遺症／脳・脊髄外傷後遺症（高次脳機能障害を含む）／整形外科的後遺症／変性疾患（パーキンソン病）／脳炎や髄膜炎／

以下の治療（検査）手技を経験する

リハビリテーション（PT/OT/ST）／家屋訪問／介護施設見学／嚥下機能評価／高次脳機能検査／神経学的診察

運動麻痺や失調、感覚障害を、病歴聴取や身体診察から推測できる能力を養う

脳血管障害を、画像診断や神経学的所見と関連させながら理解する

神経学的障害の評価と、障害をもった患者の理解ができる

神経精神系薬剤の基本的使用法と適応を学ぶ

早期から回復期、在宅や通所のリハビリテーションの流れを学ぶ

家屋訪問や家族との面談を行い、家庭の介護力の評価と社会資源の活用を学ぶ

リハビリスタッフや医療ケースワーカーとの連携を学ぶ

介護保険主治医意見書を書く

救急

《一般目標》

すべての臨床医に必要な救急医療についての知識と技術の習得

《行動目標》

以下の疾患（病態）を経験する

心肺停止 / 意識障害 / けいれん性疾患 / 脳血管障害 / ショック / 急性心不全 / 急性冠疾患 / 急性呼吸不全（窒息を含む） / 過換気発作 / 急性中毒（異物誤飲を含む） / 急性腹症 / 急性消化管出血（吐血 / 下血） / 外傷（骨折・熱傷を含む） / アナフィラキシー / ぜんそく発作 / 高血圧発作

救急外来における迅速な病歴聴取と身体診察術を学ぶ

バイタルサイン及び意識障害スケールを用いた客観的な状態評価とトリアージを行う

救急フォーマットによる適切な口頭プレゼンテーションとディスカッションができる

ACLS（ICLS）講習を受け、心肺停止状態の患者に対する適切な心肺蘇生術を身につける

緊急の中心静脈カテーテルの挿入と管理を学ぶ

各種緊急穿刺術、胃管挿入、を学ぶ

急速輸液療法と救急医薬品の適切な使用を学ぶ

緊急止血術と一次創傷処置が行える（局所麻酔を含む）

地域医療

《一般目標》

自宅で単独もしくは家族の介護を受けながら治療を継続することの多い高齢者に配慮した医療活動および地域連携や保健サービススタッフとの協力にあたるための能力と態度を身につける。

《行動目標》

以下の疾患を経験する

在宅で治療する高齢者の栄養摂取障害 / 誤嚥、転倒、失禁、じょく創などの老年症候群 / 在宅治療患者の病状変化

以下の治療手技を経験する

経管栄養法 / 尿道カテーテル管理 / 浣腸 / 在宅酸素療法 / 在宅輸液療法（皮下輸液を含む）

上記の経験をするため小規模病院、診療所を拠点とした在宅医療チームに参加する
高齢者の特性を理解し、年齢に配慮した適切な面接、診療、治療にあたる
家族構成を理解し、家庭介護力に配慮した適切な診療計画をたてる
在宅医療や在宅介護のシステムを理解し、訪問看護、介護に適切な指示をする
介護保険について理解し、主治医意見書を書く
ケアマネージャー等の在宅介護スタッフと適切にコミュニケーションをとる
在宅診療の経験の多い診療所医師等から在宅医療の状況を学ぶ

外科

《一般目標》

外科及び整形外科領域の適切な初期診断を行う積極性と技能を習得し、専門医に移管するまでの初期診療を行う技術を習得する。同時に、疼痛を主とした外傷または周術期（終末期も含む）患者の特性を理解し、いたわりの気持ちをもって対応する態度を身につける。また外科的治療法に際する手術室での麻酔に必要な知識と基本手技（気管挿管、脊髄麻酔など）を得ることを目標とする。

《行動目標》

一般外科分野

以下の疾患を経験する

外傷（熱傷を含む）／急性腹症（急性虫垂炎、消化管穿孔、腸閉塞）／胆石症／そけいヘルニア／肛門疾患／胃腸の腫瘍性疾患／乳房の腫瘍性疾患

以下の検査（治療）手技を経験する

創傷処置（洗浄・縫合・切開排膿・被覆包帯法など）／局所麻酔／破傷風予防法／腹部 CT（造影を含む）／超音波検査／消化管造影／ドレーン管理／術後疼痛管理／清潔操作

創傷処置の理論と手技を身につける

急性腹症の鑑別診断・手術適応について理解し、ディスカッションと手術に参加する

待機的手術の術前検査と術前リスク評価を行い、術前カンファレンスに提示する

良性疾患の外科的治療の概要について理解し、患者への説明の現場に参加する

悪性疾患の外科的治療の概要について理解し、患者への説明の現場に参加する

手術に立ち会い、手術室スタッフとの連携と手術基本手技を学ぶ

術後合併症について理解し、その予防と治療を指示できる

緩和ケアの基本を学ぶ

整形外科分野

以下の疾患を経験する

骨折（四肢及び脊椎、骨粗鬆症を含む）／捻挫／腰痛症（椎間板ヘルニアを含む）／筋・腱及び関節包の断裂／変形性関節症／変形性脊椎症／腱鞘炎／神経根及び末梢神経の圧迫性障害／関節炎（感染、RA、痛風ほか）

以下の検査（治療）手技を経験する

整形外科的診察法／骨および関連の画像検査（MRI を含む）／固定法（ギプスを含む）／湿布法／簡単な徒手整復法／関節穿刺／整形外科手術

上記のため、整形外科外来の見学及び診療補助に参加する

骨関節系統の疾患を、病歴聴取と身体診察から推定できる能力を養う

外来における整形外科的外傷の初期診断および一次処置を学ぶ

主な関節の疼痛について鑑別すべき疾患が列挙できる

麻酔分野

以下の手技を経験する

全身麻酔／腰椎麻酔／気管挿管

手術麻酔の術前から術後までの流れを理解する

麻酔に必要な情報収集と、患者との面接技術を学ぶ

実際の手術麻酔に参加し、見学や補助業務を行う

麻酔に関係する生理学／解剖学／薬理学を総合的に学習する

小児科

《一般目標》

小児科領域の適切な初期診断を行う積極性と技能を習得し、専門医に移管するまでの初期診察を行う技術を習得する。同時に、発達段階に応じた小児の特徴を理解し、家族を含めていたわりの気持ちをもって対応する態度を身につける。

《行動目標》

以下の疾患を経験する

小児ウイルス感染症（流行性疾患を含む）／小児細菌感染症／小児ぜんそく／湿疹皮膚炎群／けいれん性疾患／消化吸収不良（便秘症を含む）／習癖障害／発達障害／小児の外傷（頭部外傷、肘内障を含む）／中毒（異物誤飲を含む）

以下の検査（治療）手技を経験する

外来診察法／小児の採血（毛細管採血を含む）／小児の薬物療法（輸液を含む）／抑制法／迅速診断法／予防接種／乳児健診

小児科外来に参加し、見学と診療補助を行う

小児や親から必要な情報を得るための基本的面接法を学ぶ

小児の急性疾患の診察、診察室での検査、主要な治療を身につける

代表的急性疾患について、見通しの説明と家庭看護の要点について説明する

予防接種の必要性和スケジュールについて説明し、安全に接種する技術を身につける

小児疾患の重症度を把握でき、小児科医と連携できる能力を身につける

短期間の小児入院治療を受け持ち、退院までの流れを理解する

産婦人科

《一般目標》

産科・婦人科領域の適切な初期診断を行う積極性と技能を習得し、専門医に移管するまでの初期診察を行う技術を習得する。また、女性であり母性である産婦人科患者の実態を理解し、いたわりの気持ちでその診療にあたりプライバシーに配慮する態度を身につける。

《行動目標》

産婦人科患者の問診を行い、診断に必要な事項を聞き出し記録する。

産婦人科的診察の特殊性を理解し、専門医の所見記載をただしく解釈できる

妊娠の診断法を知っていて、結果を適正に判断できる

妊婦の家庭における健康管理についてただしく指導できる

正常分娩の介助を各期にわたって行う事ができる

異常分娩ないし早流産の徴候を察知でき、専門医と協力して応急処置ができる

分娩直後の新生児のルーチンケアができる

女性の性器出血ないし腹腔内出血を早期に発見でき、鑑別診断と専門医への移管ができる

骨盤内炎症及び骨盤内腫瘍の頸捻転の存在を発見し応急処置ができる

月経および閉経に関連する愁訴について聴取でき、患者に対応の指示ができる

精神科

《一般目標》

精神科領域の適切な初期診断を行う積極性と技能を習得し、臨床医としての一般対応ができると共に専門医に移管するまでの初期診察を行う技術を習得する。また、社会的弱者としての精神疾患患者の実態を理解し、いたわりの気持ちでその診療にあたりプライバシーに配慮する態度を身につける。

《行動目標》

精神科チーム医療の基本行動ができる。

新患の予備面接ができ、ICD10 または DSM4 の診断ができる

精神療法の基本を身につける

精神科的な以下の救急事態の基本対応ができる

不安焦燥状態、興奮状態、抑うつ状態、自殺企図

実際のケース検討を経験する